

復興に駆ける！

第1号
平成25年5月発行
岩手県立生涯学習推進
センター

NPO法人「立ち上がるぞ！宮古市田老」

理事長 大棒 秀一さん



お話を聞かせてくれた、理事長の大棒さん

大棒さんは震災時、東京で放射線技師として働いていた。ちょうど3月で定年を迎えるところだった大棒さんは、震災前は故郷の田老に戻ることを考えていなかった。しかし、震災後は被災した田老のために何かできることがあるのではないかと思い、戻ることを決めた。そして、被災地の同級生らと復興自立支援を目的にNPO法人『立ち上がるぞ！宮古市田老』を平成24年7月28日に立ち上げた。これまでに行っ

た活動の中で記憶に残っていることは、被災を免れた方たちの声を聴いて回ったこと。「家の周りには店もなく、また話を聴いてくれる人もいなかった。」と話す人や、在宅避難者から、「来てくれて助かった。」と言われたことが思い出されるという。活動は、まちづくり勉強会を開き、今後の田老の復興について住民と一緒に考えること。さらに、地域のまちづくり検討会に参加して、市民の声を反映した検討結果を市に提言したこともあった。

現在取組んでいることは、津波の検証、避難場所の検証である。なぜ、あの防潮堤を津波が超えてきたのか。なぜ、避難場所まで逃げるのに時間がかかったのか。聞き取りした証言や資料をもとに様々な角度から検証を行い、第1版、2版にまとめている。

大棒さんは、「今後更に検証を深め、津波防災、減災について世界に発信しながら、いつ来るかわからない災害に備え、二度と同じことが起きないようにしなければならない。震災で命を亡くされた方々のためにも。」と熱く語ってくれた。第3版の冊子も作成する予定。冊子について知りたい方は、右記の連絡先まで問い合わせしてほしい。



貴重な証言をまとめた第1版、2版

連絡先

〒027-0305

宮古市田老字荒谷 51-15

Email:tachiagaruzo20110311@yahoo.co.jp